

HIOKI

取扱説明書

3637

AC 電圧口力一

日置電機株式会社

目次

はじめに	1
点検	1
安全について	2
ご使用にあたっての注意	5
測定の流れと参照する項目	6
第 1 章 製品概要	7
1.1 各部の名称と機能	8
1.2 記録間隔と最大記録時間	9
1.3 測定値の記録方式	10
第 2 章 測定準備	11
2.1 電池の実装および交換	11
2.2 省電力機能について	13
2.3 現在時刻の設定	14
2.4 9639 接続ケーブルの接続	15
第 3 章 設定方法	17
3.1 設定項目	17
3.2 マニュアル設定	20
3.3 コミュニケーションベースによる設定	22
第 4 章 仕様	25
第 5 章 保守・サービス	27

はじめに

このたびは、HIOKI "3637 AC 電圧ロガー"をご選定いただき、誠にありがとうございます。この製品を十分にご活用いただき、末長くご使用いただくためにも、取扱説明書はていねいに扱い、いつもお手元に置いてご使用ください。

点検

本器がお手元に届きましたら、輸送中において異常または破損がないか点検してからご使用ください。万一、破損あるいは仕様どおり動作しない場合は、お買上店（代理店）か最寄りの営業所にご連絡ください。

付属品

9639 接続ケーブル

取扱説明書

単 4 形アルカリ乾電池（LR03）× 4（本体内容蔵）



本器には検査用モニタ電池が入っていますが、電池によっては消耗している場合があります。長期間の測定を行う場合など、新しい電池と交換することをお勧めします。

使用前には、保存や輸送による故障がないか、点検と動作確認をしてから使用してください。故障を確認した場合は、お買上店（代理店）か最寄りの営業所にご連絡ください。

接続ケーブルの被覆が破れたり、金属が露出していないか、使用する前に確認してください。損傷がある場合は、感電事故になるので、お買上店（代理店）か最寄りの営業所にご連絡ください。

安全について

この取扱説明書には本器を安全に操作し、安全な状態に保つのに要する情報や注意事項が記載されています。本器を使用する前に下記の安全に関する事項をよくお読みください。



警告

この機器は IEC 61010 安全規格に従って、設計され、試験し、安全な状態で出荷されています。測定方法を間違えると人身事故や機器の故障につながる可能性があります。取扱説明書を熟読し、十分に内容を理解してから操作してください。万一事故があっても、弊社製品が原因である場合以外は責任を負いかねます。

安全記号



- ・ 使用者は、機器上に表示されている マークのところについて、取扱説明書の マークの該当箇所を参照し、機器の操作をしてください。
- ・ 使用者は、取扱説明書内の マークのあるところは、必ず読み注意する必要があることを示します。



二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。



直流 (DC) を示します。



交流 (AC) を示します。

取扱説明書の注意事項には、重要度に応じて以下の表記がされています。



危険

操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる危険性が極めて高いことを意味します。



警告

操作や取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷につながる可能性があることを意味します。



注意

操作や取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う場合、または機器を損傷する可能性があることを意味します。

確度について

弊社では測定値の限界誤差を、次に示す f.s. (フルスケール)、rdg. (リーディング)、dgt. (デジット) に対する値として定義しています。

f.s. (最大表示値、目盛長)

最大表示値または、目盛長を表します。

一般的には、現在使用中のレンジを表します。

rdg. (読み値、表示値、指示値)

現在測定中の値、測定器が現在指示している値を表します。

dgt. (分解能)

デジタル測定器における最小表示単位、つまり最小桁の"1"を表します。

測定カテゴリ（過電圧カテゴリ）について

本器は CATIII に適合しています。

測定器を安全に使用するため、IEC61010 では測定カテゴリとして、使用する場所により安全レベルの基準を CAT ~CAT で分類しています。概要は下記のようになります。

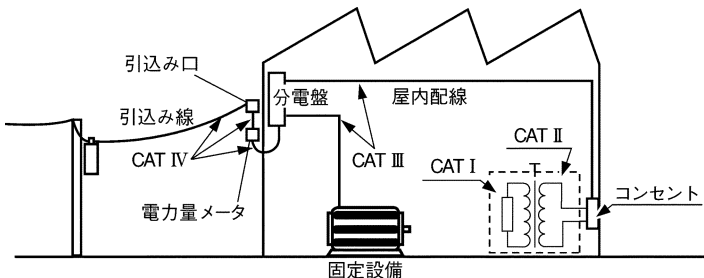
CAT I	コンセントからトランスなどを経由した機器内の二次側の電気回路
CAT II	コンセントに接続する電源コード付き機器（可搬形工具・家庭用電気製品など）の一次側電路
CAT III	直接分電盤から電気を取り込む機器（固定設備）の一次側および分電盤からコンセントまでの電路
CAT IV	建造物への引込み電路、引込み口から電力量メータおよび一次側電流保護装置（分電盤）までの電路

数値の大きいカテゴリは、より高い瞬時的なエネルギーのある電気環境を示します。そのため、CAT で設計された測定器は、CAT で設計されたものより高い瞬時的なエネルギーに耐えることができます。

カテゴリの数値の小さいクラスの測定器で、数値の大きいクラスに該当する場所を測定すると重大な事故につながる恐れがありますので、絶対に避けてください。

特に、CAT の測定器を CAT 、および に該当する場所の測定に用いないでください。

測定カテゴリは IEC60664 の過電圧カテゴリに対応します。



ご使用にあたっての注意



本器を安全にご使用いただくために、また機能を十二分にご活用いただくために、下記の注意事項をお守りくださるようお願いいたします。

危険

- ・最大入力電圧は AC600 Vrms です。この最大入力電圧を超えると本器を破損し、人身事故になるので測定しないでください。
- ・接続ケーブルは、必ずブレーカの二次側に接続してください。ブレーカの二次側は、万一短絡があっても、ブレーカにて保護します。一次側は、電流容量が大きく、万一短絡事故が発生した場合、損傷が大きくなるので、測定しないでください。

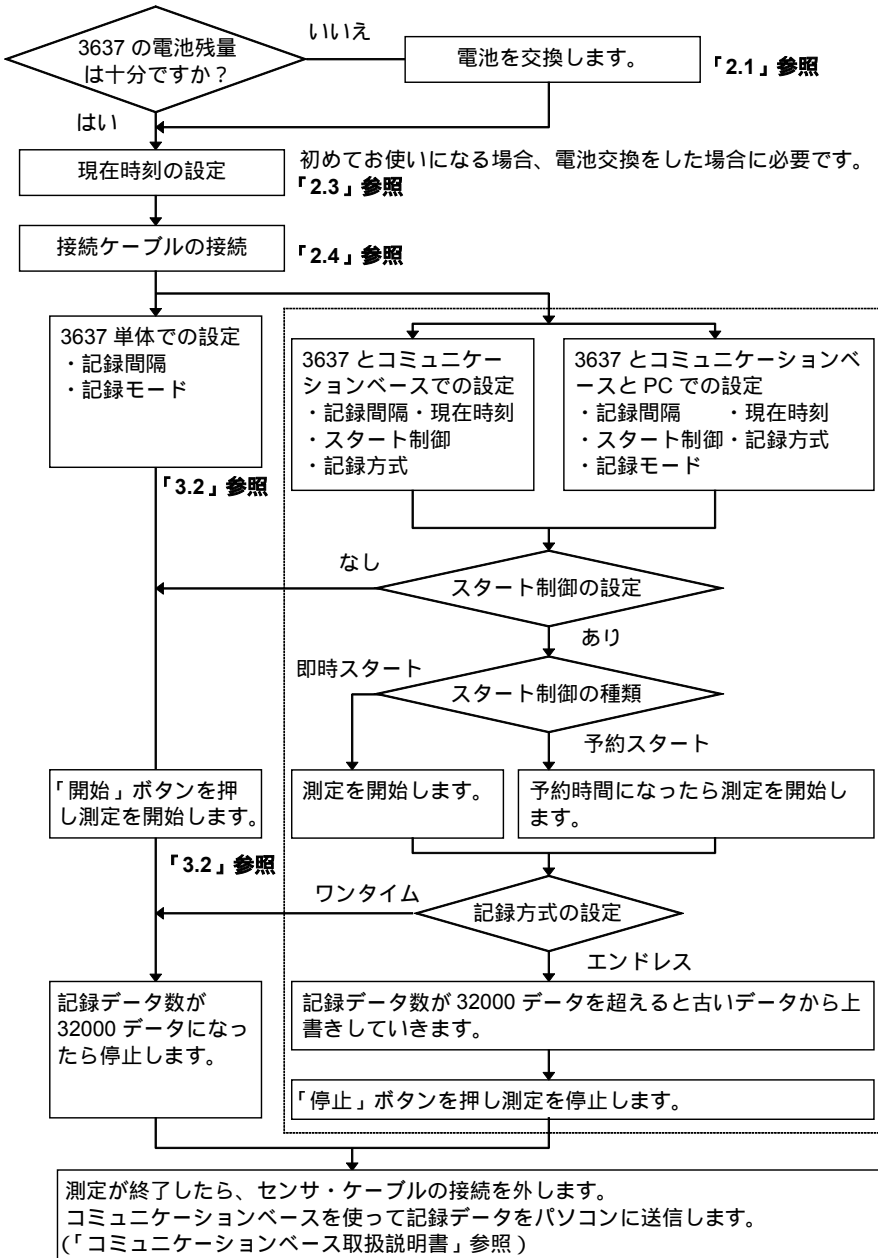
警告

- ・本器をぬらしたり、ぬれた手で測定しないでください。感電事故の原因になります。
- ・感電、短絡事故を避けるため、接続ケーブルを接続する前に測定ラインの電源をしゃ断してください。

注意

- ・感電事故を避けるため、接続ケーブルの交換は、いったん全ての結線を測定ラインから外して行ってください。
 - ・断線による故障を防ぐため、接続ケーブルの付け根を折ったり引っ張ったりしないでください。
 - ・活線で測定するので、感電事故を防ぐため、労働安全衛生規則に定められているように、電気用ゴム手袋、電気用ゴム長靴、安全帽等の絶縁保護具を着用してください。
 - ・この機器は室内用に設計されています。安全性を損なわないで 0~50 の温度まで使用できます。
 - ・直射日光や高温、多湿、結露するような環境下での、保存や使用はしないでください。変形、絶縁劣化を起こし、仕様を満足しなくなります。
 - ・本器は防じん・防水構造となっておりません。ほこりの多い環境や水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になります。
-

測定の流れと参照する項目



第 1 章 製品概要

3637 AC 電圧ロガーは、最大 600 Vrms までの AC 電圧の実効値を一定間隔で測定・記録します。

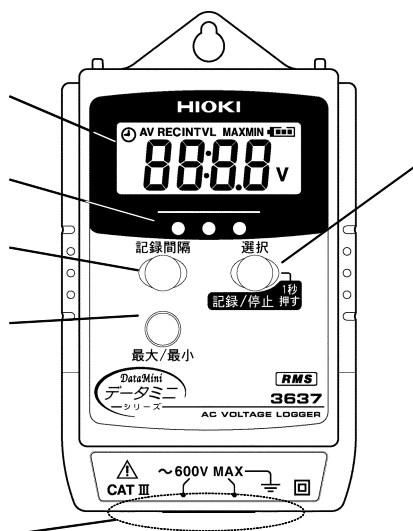
瞬時値記録と平均値記録の 2 種類の記録モードを備え、電池駆動により長時間の電圧記録が可能です。

また不揮発性メモリにデータを書き込むため、電池消耗時、および電池交換時にデータが消えません。



3637 は 3910 コミュニケーションベースでは設定できません。

1.1 各部の名称と機能



LCD	測定値、および設定内容を表示します。
光通信ポート	コミュニケーションベースと光通信を行うポートです。
記録間隔ボタン	記録間隔設定画面の呼び出しと、記録間隔、記録モード、測定 ch の確定を行います。
最大 / 最小ボタン	記録したデータの最大値または最小値を表示します。
接続端子	9639 接続ケーブルを接続します。
記録 / 停止ボタン (選択ボタン)	1 秒以上押すと記録を開始、または停止します。 記録間隔設定画面では記録間隔を選択します。

1.2 記録間隔と最大記録時間

記録間隔と最大記録時間（瞬時値記録で省電力機能が有効な場合）を示します。最大記録時間は電池の残量により、制限されます。平均値記録で省電力機能を有効にした場合の記録時間は約 1 か月となります。

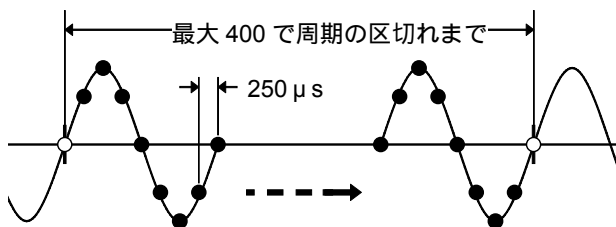
3637 AC 電圧ロガーで記録可能なデータ数は 32000 データです。

記録間隔	最大記録時間
1 秒	8 時間 53 分 20 秒
2 秒	17 時間 46 分 40 秒
5 秒	1 日 20 時間 26 分 40 秒
10 秒	3 日 16 時間 26 分 40 秒
15 秒	5 日 13 時間 20 分
20 秒	7 日 9 時間 46 分 40 秒
30 秒	11 日 2 時間 40 分
1 分	22 日 5 時間 20 分
2 分	44 日 10 時間 40 分
5 分	111 日 2 時間 40 分
10 分	222 日 5 時間 20 分
15 分	333 日 8 時間
20 分	444 日 10 時間 40 分
30 分	666 日 6 時間
60 分	1333 日 8 時間

1.3 測定値の記録方式

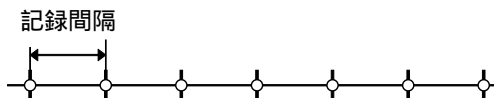
実効値の算出

実効値の算出方法は、測定信号を $250 \mu\text{sec}$ ごとにサンプリングし、最大 400 ポイントのデータから演算によって実効値を求めています。



瞬時値記録

瞬時値記録の場合は、設定した記録間隔ごとに 1 回だけ実効値を算出してメモリに記録します。

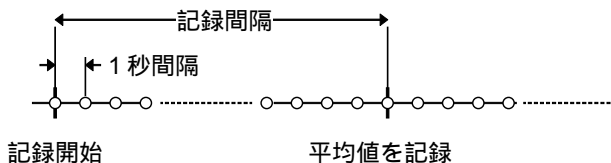


瞬時値を記録

平均値記録

平均値記録の場合は、1 秒ごとに 1 回だけ実効値を算出し、記録間隔内の全データの平均値をメモリに記録します。

記録開始後、記録間隔内の平均値を記録していきます。したがって最初のデータは記録開始直後からではなく次の記録間隔のときからとなります。



第 2 章 測定準備

2.1 電池の実装および交換





警告

- ・感電事故を避けるため、接続ケーブルを被測定物より外してから電池を交換してください。
- ・電池交換時には本体内に金属類などの異物が混入しないように注意してください。本器の破損の原因となります。
- ・交換後は、必ずふたをしてから、ねじ止め後使用してください。
- ・電池交換するときは新旧および異種の混合はしないでください。また、極性+ - に注意し、逆挿入しないでください。性能劣化や液漏れの原因になります。
- ・使用済の電池は地域で定められた規則に従って処分してください。

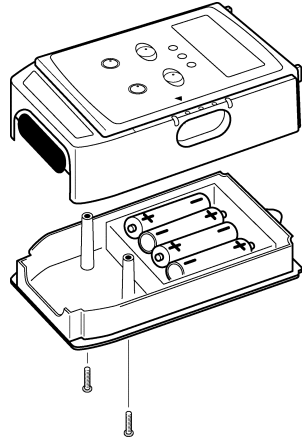
注意

電池を交換する際は、静電気などにより回路が故障することがありますので、できるだけ基板に手などを触れないようにしてください。

新しい電池を使用することで、瞬時値記録（記録間隔 1 分以上）の場合で約 1 年、また平均値記録の場合で約 1 か月の記録ができます。（省電力の設定を有効にし、使用温度 20 での参考値）



電池残量表示（）は右側から消えていき、空になる（）と電池の交換時期であることを意味します。

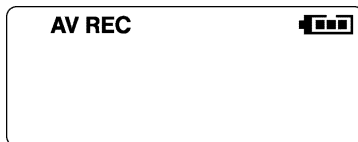
- (1) 裏面のねじを外し、ふたを取ります。
極性を確認して単4形アルカリ乾電池（LR03）×4を実装・交換します。
- (2) ふたを確実に締めて、ネジを締めます。



2.2 省電力機能について

最後のボタン操作から約 15 秒間操作がないと自動的に画面表示が OFF になります（スリープ状態）。

ただし、記録中は、REC/AV/ /  マークはそれぞれの状態を示します。



スリープ状態

測定値を表示させる場合、または設定を行う場合は任意のボタンを押すと表示が ON になります。

ただし、記録間隔設定画面（INTVL 表示）では、ボタン操作がなくてもスリープ状態にはなりません。

初期設定では省電力機能が有効になっています。無効にしたい場合は、以下のように設定してください。

省電力機能を無効にすると連続使用時間は 15 日程度となります。

- (1) 3637、コミュニケーションベース、およびパソコンの 3 台を接続します。
- (2) コミュニケーションベースに付属のソフトウェアを起動します。
- (3) メニューバーの [通信] から、[省電力機能の設定] を選択し、[無効] を選択してください。



接続、およびソフトウェアのインストールについては、「コミュニケーションベースの取扱説明書」を、ソフトウェアの使用方法については操作ガイドを参照してください。

2.3 現在時刻の設定

3637 AC 電圧ロガーの電池交換を行った後、または初めて単体（マニュアル操作）でお使いになるときは、コミュニケーションベースと接続して現在時刻を設定する必要があります。

現在時刻の設定方法については「コミュニケーションベースの取扱説明書」を参照してください。

2.4 9639 接続ケーブルの接続

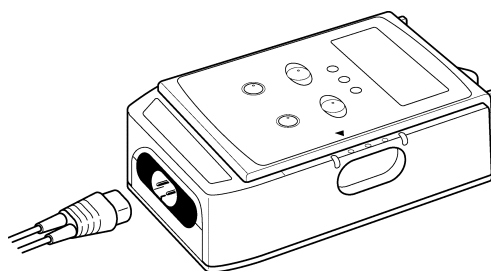


警告

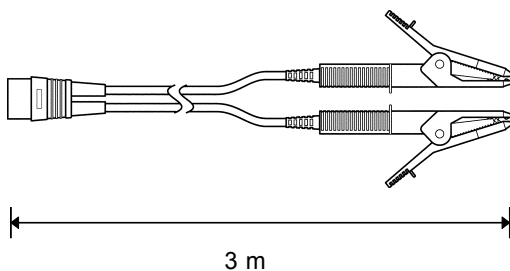
- ・感電事故を防ぐため、9639 接続ケーブルの先端で電圧のかかっているラインを短絡しないでください。
- ・最大入力電圧は AC600 Vrms です。この最大入力電圧を超えると本器を破損し、人身事故になるので測定しないでください。
- ・対地間最大定格電圧は 600 Vrms です。大地に対してこの電圧を超える測定はしないで下さい。本器を破損し、人身事故になります。

3637 に、9639 接続ケーブルを接続します。

交流電圧を測定するため、9639 接続ケーブルの先端クリップの接続の極性は関係ありません。



9639 接続ケーブル



第 3 章 設定方法

3.1 設定項目

設定には、3637 単体でマニュアル設定できる項目、測定条件を記憶して
るコミュニケーションベースと組合せで設定できる項目、およびパソコンと
組み合わせて設定できる項目があります。

	3637	3637 + コミュニケーションベース	3637 + コミュニケーションベース + PC
記録の開始			
記録の停止		×	×
記録間隔の設定			
現在時刻の設定	×		
スタート制御	×		
記録方式の設定	×		
記録モードの設定		×	
コメント	×	×	
最小 / 最大値表示		×	×

記録の開始

記録の開始は、3637 の[記録 / 停止]ボタンを 1 秒以上押すことで開始させるマニュアル操作と、コミュニケーションベースから記録開始日時を設定する予約スタートがあります。予約スタートが有効になると、表示には ⊕ マークが表示されます。電池が消耗していると記録を開始できません。また、記録中に電池が消耗すると記録を停止します。



記録の停止

記録の停止は 3637 の[記録 / 停止]ボタンを 1 秒以上押すことで停止させます。

または、データが一杯になったら自動的に測定を停止します。(記録方式が「ワンタイム」の場合)

記録間隔の設定

3637 単体、またはコミュニケーションベースを使用して設定できます。記録間隔は 15 種類から選択できます。

(1 / 2 / 5 / 10 / 15 / 20 / 30 秒、1 / 2 / 5 / 10 / 15 / 20 / 30 / 60 分)

現在時刻の設定

現在時刻の設定方法については「コミュニケーションベースの取扱説明書」を参照してください。

スタート制御

コミュニケーションベースを介して記録開始日時を設定する予約スタートがあります。予約スタートが有効になると表示には ⊕ マークが表示されます。

記録方式の設定

コミュニケーションベースを介して記録方式の設定ができます。記録方式にはワンタイムとエンドレス方式があります。工場出荷時の設定はワンタイムです。

ワンタイム：記録データ数が 32000 データになったら記録を停止します。

エンドレス：記録データ数が 32000 データを超えると古いデータから上書きしていきます。

記録モードの設定

3637 単体、またはコミュニケーションベースを介して記録モードの設定ができます。

記録モードは瞬時値記録と平均値記録（AV 表示）の 2 種類です。工場出荷時の設定は平均値記録です。

平均値記録モードの場合、記録間隔内の平均値を記録していきます。したがって最初のデータは記録開始直後からではなく次の記録間隔のときからとなります。

例えば、1 分の記録間隔で 12 時 00 分から測定を開始した場合、1 分経過後の 12 時 01 分のデータが最初のデータとなります。



コメント

パソコンで入力したコメントをコミュニケーションベースを介して 3637 に設定できます。コメントを設定しておくことで記録したデータを収集したときの判別に便利です。

コメントの設定は 3637 とコミュニケーションベースとパソコンの 3 台を接続した場合に設定できます。

最大 / 最小値表示

3637 単体で設定できます。記録データの最大値または最小値を切り換えて表示します。

- ・最大値および最小値は、メモリに記録されているデータに対するもので、1 秒ごとの表示値とは一致しない場合があります。
- ・記録方式を「エンドレス」に設定していると、記録開始からのデータの最大値および最小値が表示されます。長時間の記録で古いデータが上書きされた場合、現在記録されているデータと、表示される最大値・最小値が一致しない場合があります。



3.2 マニュアル設定

3637 AC 電圧ロガー単体で設定できるマニュアル操作について説明します。

(1) 記録間隔の設定

[記録間隔] ボタンを押すと測定値表示から、記録間隔設定画面 (INTVL 表示) に切り換わります。

[選択] ボタンを押すごとに、記録間隔が変化します (図は 1 秒間隔の場合)。

[記録間隔] ボタンを押せば設定完了です。



(2) 記録モードの設定

[記録間隔] ボタンを押して記録間隔設定画面を表示します。

[最大 / 最小] ボタンを押すごとに瞬時値記録と平均値記録 (AV 表示) で交互に切り換わります。

瞬時値記録と平均値記録については「1.3 測定値の記録方式」を参照してください。



(3) 記録の開始と終了

[記録 / 停止] ボタンを 1 秒間押すと記録を開始します (REC 表示)。記録開始と同時に、以前の記録データは消去されます。

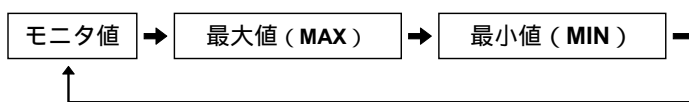
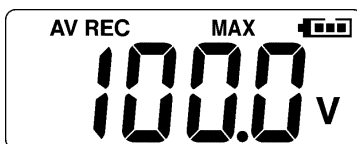


[記録 / 停止] ボタンを 1 秒間押すと記録を終了します。また、メモリが一杯になると記録を自動停止します。(記録方式が「ワンタイム」の場合)

電池が消耗していると記録を開始できません。また、記録中に電池が消耗すると記録を停止します。

(4) 最大 / 最小値表示

[最大 / 最小] ボタンを押すと、記録データの最大値または最小値を表示します。

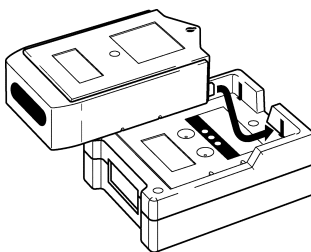


3.3 コミュニケーションベースによる設定

- (1) 3637 の [記録間隔] ボタンを短く押して、LCD を表示させます。
- (2) 3637 の LCD に (REC) マーク、または ⊕ マークが表示されている場合は [記録 / 停止] ボタンを 1 秒以上押して記録を停止させます。記録中、または記録開始時間待ち状態では、コミュニケーションベースと通信できません。
- (3) 3637 の [記録間隔] を押して記録間隔設定画面 (INTVL 表示) にします。



- (4) コミュニケーションベースと 3637 を接続します。
- (5) コミュニケーションベースの [設定] ボタンを 1 秒以上押すと、設定データが 3637 に転送されます。



- ・データを取り込んだ 3637 で再び記録を開始すると、以前のデータは消えてしまいます。必要なデータはコミュニケーションベース、またはパソコンに取り込んでから記録を開始してください。
- ・記録間隔設定画面以外でも記録中、または記録開始時間待ち状態を除きコミュニケーションベースと通信することができます。ただし、データミニがスリープ状態では通信はできません。

コミュニケーションベース付属のソフトウェア「COMMUNICATION UTILITY」の 3637 固有の設定を紹介します。

「COMMUNICATION UTILITY」のメニューバーの [通信] より、[測定条件の設定] を選択します。

測定条件の設定ウインドウの「3637」の設定項目で設定します。



- ・コメント、記録モードの設定は「3637」の設定項目でのみ設定できます。PC とコミュニケーションベースと 3637 の 3 台を接続した場合に限ります。
- ・機種共通の設定は「3911, 3912」の設定項目でも設定できます。

第 4 章 仕様

入力	AC 電圧
最大入力電圧	AC600 Vrms、1000 V ピーク値
対地間最大定格電圧	600 Vrms
入力数	1 ch
測定範囲	0.0 ~ 600.0 V
測定方式	真の実効値演算
測定確度	± 1% rdg. ± 5 dgt. (50/60 Hz)
実効値算出間隔	1 回 / 秒
表示	LCD 表示 測定値、記録間隔 (設定時)、バッテリー状態 (4 段階)、単位 (V)、記録中 (REC)、予約中 (⊕)、 平均値記録 (AV)、最大値 (MAX)、最小値 (MIN)
記録モード	瞬時値記録 平均値記録 (記録間隔内の平均値を記録)
記録間隔	1/2/5/10/15/20/30 秒、1/2/5/10/15/20/30/60 分
記録データ数	32000 データ
記録開始	マニュアルスタート、予約時間スタート
記録終了	マニュアルストップ、メモリアル
記録方法	ワンタイム記録、エンドレス記録
最大 / 最小表示	最大値および最小値を表示
バックアップ	データバックアップあり (電池消耗・交換によるデータ消去なし)
インタフェース	赤外光通信
電源	単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) × 4
定格電源電圧	DC1.5 V × 4
最大定格電力	0.1 VA
連続使用時間	約 1 年 (温度 20 °C、省電力機能: 有効、記録間隔 1 分にて瞬時値記録の場合) 約 1 か月 (温度 20 °C、省電力機能: 有効、平均値記録の場合)
寸法	約 57W × 86H × 30D mm (突起物含まず)
質量	約 130 g (電池含む)
使用場所	屋内、高度 2000 m 以下
使用温湿度範囲	0 ~ 50 °C、80% rh 以下 (結露しないこと)

保存温湿度範囲	-10 ~ 60 、 80% rh 以下 (結露しないこと)
確度保証温湿度範囲	23 ± 5 , 80%rh 以下
確度保証期間	1 年
付属品	単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) × 4 9639 接続ケーブル 取扱説明書
オプション	3911 コミュニケーションベース 3912 コミュニケーションベース
適合規格	EMC EN61326 安全性 EN 61010 測定カテゴリ (予想される過渡過電圧 6000 V) 汚染度 2

第 5 章 保守・サービス

本器のクリーニング

本器の汚れをとるときは、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。ベンジン、アルコール、アセトン、エーテル、ケトン、シンナー、ガソリン系を含む洗剤は絶対に使用しないでください。変形、変色することがあります。

LCD ディスプレイは乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

サービス

故障と思われるときは、電池の消耗、接続ケーブルの断線を確認してから、お買上店（代理店）か最寄りの営業所にご連絡ください。

輸送中に破損しないように梱包し、故障内容も書き添えてください。

輸送中の破損については保証しかねます。

本器の確度維持あるいは確認には、定期的な校正が必要です。

修理・校正業務のご用命は、「日置エンジニアリングサービス（株）」までお願いいたします。（TEL 0268-28-0823、FAX 0268-28-0824）

エラー表示

本器は下記のように LCD にエラーが表示されることがあります。

エラー表示	意味
<code>Err1</code>	ROM エラー
<code>Err2</code>	RAM エラー
<code>Err9</code>	調整データエラー

エラーが表示された場合、修理・点検が必要になります。

お買い上げ店（代理店）か最寄りの営業所にご連絡ください。

保証書

形名 3637	製造番号	保証期間 購入日 年 月より 1年間
-------------------	------	-----------------------

本製品は、弊社の厳密なる検査を経て合格した製品をお届けした物です。

万一ご使用中に故障が発生した場合は、お買い求め先にご連絡ください。本書の記載内容で無償修理をさせていただきます。また、製品の使用による損失については、購入金額までの支払いとさせていただきます。なお、保証期間は購入日より1年間です。購入日が不明の場合は、製品の製造月から1年を目安とします。ご連絡の際は、本書を提示してください。

また、確度については、明示された確度保証期間によります。

お客様

ご住所: 〒 _____

ご芳名: _____

* お客様へのお願い

- ・保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。
 - ・「形名、製造番号、購入日」およびお客様「ご住所、ご芳名」は恐れ入りますが、お客様にて記入していただきますようお願いいたします。
1. 取扱説明書・本体注意ラベル(刻印を含む)などの注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。また、製造後一定期間を経過したものとおよび部品の生産中止、不測の事態の発生などにより修理不可能となった場合は、修理、校正などを辞退する場合がございます。
 2. 保証期間内でも、次の場合には保証の対象外とさせていただきます。
 - 1. 製品を使用した結果生じる被測定物の、二次的、三次的な損傷、被害
 - 2. 製品の測定結果がもたらす二次的、三次的な損傷、被害
 - 3. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障
 - 4. 弊社以外による修理や改造による故障および損傷
 - 5. 取扱説明書に明示されたものを含む、部品の消耗
 - 6. お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
 - 7. 外観上の変化(筐体のキズなど)
 - 8. 火災、風水害、地震、落雷、電源異常(電圧、周波数など) 戦争・暴動行為、放射能汚染およびその他天災地変などの不可抗力による故障および損傷
 - 9. 保証書の提出が無い場合
 - 10. その他弊社の責任とみなされない故障
 - 11. 特殊な用途(宇宙用機器、航空用機器、原子力用機器、生命に関わる医療用機器及び車輛制御機器など)に組み込んで使用する場合で、前もってその旨を連絡しただかない場合
 3. 本保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

サービス記録

年月日	サービス内容

日置電機株式会社

〒 386-1192 長野県上田市小泉 8-1

TEL 0268-28-0555

FAX 0268-28-0559



外国主要販売ネットワーク



外国代理店については HIOKI ホームページを
ご覧いただくか、最寄りの営業所または本社販売
企画課までお問い合わせください。

URL <http://www.hioki.com/>

HIOKI USA CORPORATION

6 Corporate Drive, Cranbury, NJ 08512 USA

TEL +1-609-409-9109

FAX +1-609-409-9108

E-MAIL hioki@hiokiusa.com

HIOKI 3637 AC 電圧口ガー
取扱説明書

発行年月 2008年6月 改訂5版
編集・発行 日置電機株式会社
開発支援課

問合せ先 日置電機株式会社
販売企画課
〒386-1192 長野県上田市小泉 81
 0120-72-0560
TEL: 0268-28-0560
FAX: 0268-28-0569
E-mail: info@hioki.co.jp
URL <http://www.hioki.co.jp/>

Printed in Japan 3637A980-05

-
- ・本書の内容に関しては万全を期していますが、ご不明な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、本社 販売企画課または最寄りの営業所までご連絡ください。
 - ・本書は改善のため予告なしに記載事項を変更することがあります。
 - ・本書には著作権によって保護される内容が含まれます。本書の内容を弊社に無断で転載、複製、改変することは禁止されています。
-

HIOKI

日置電機株式会社

本 社 TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559
〒386-1192 長野県上田市小泉 81
URL <http://www.hioki.co.jp/>

東北(営) TEL 022-288-1931 FAX 022-288-1934
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-1 齊喜センタービル 2F
長野(営) TEL 0268-28-0561 FAX 0268-28-0569
〒386-1192 長野県上田市小泉 81

東京(営) TEL 03-5835-2851 FAX 03-5835-2852
〒101-0032 千代田区岩本町 2-3-3 友泉岩本町ビル 1F

北関東(営) TEL 048-266-8161 FAX 048-269-3842
〒333-0847 埼玉県川口市芝中田 2-23-24

横浜(営) TEL 045-470-2400 FAX 045-470-2420
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-13-6 第一K・ビル 1F

静岡(営) TEL 054-254-4166 FAX 054-254-3160
〒420-0054 静岡市葵区南安倍 1-3-10 大成住宅ビル 6F

名古屋(営) TEL 052-702-6807 FAX 052-702-6943
〒465-0081 名古屋市名東区高間町 22

大阪(営) TEL 06-6380-3000 FAX 06-6380-3010
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-17-26 吉田東急ビル 2F

広島(営) TEL 082-879-2251 FAX 082-879-2253
〒731-0122 広島市安佐南区中筋 3-28-13 中筋駅前ビル 3F

福岡(営) TEL 092-482-3271 FAX 092-482-3275
〒812-0006 福岡市博多区上牟田 3-8-19 みなみビル 1F

■修理・校正業務のご用命は弊社まで… JCSS 登録

日置エンジニアリングサービス株式会社

〒 386-1192 長野県上田市小泉 81
TEL 0268-28-0823 FAX 0268-28-0824

お問い合わせは最寄りの営業所または本社販売企画課まで。

3637A980-05 08-06H



この取扱説明書は再生紙を使用しています。